

起業家になろう

(株)ライトワークス代表取締役社長

江口 夏郎 氏 (高校36期)



東京都三鷹市生まれ
イェール大学経営大学院修了
農林水産省勤務などを経てライトワークスを起業

【立高時代の生活】

立高時代は硬式野球部で毎日遅くまで野球ばかりやっていました。私が入学する前年に国立高校が都立高校としてはじめて甲子園に出場したこともあり、自分たちも出場できると信じて一生懸命練習をしました。自分のやりたいことをやりたいようにやらせてくれた立高の自由な校風がいまの私の起業家気質を育ててくれました。

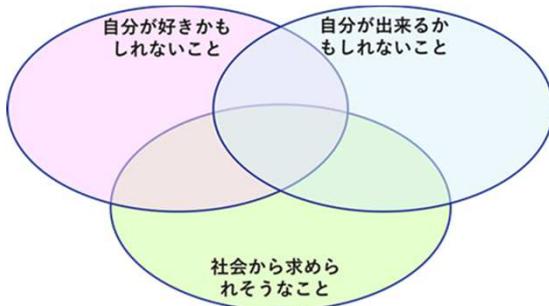
【起業への思い】

1990年代半ばに米国のビジネススクールで学ぶ機会を得ました。当時インターネットが普及し始めたこともあり、大企業や公務員として働くより会社を起業することを目指している同級生がたくさんいました。

起業の素晴らしいところは、親が何をやっているのか、どういった学歴なのか、過去失敗をしていないかといったことに関係なく、アイデアといまの努力だけで勝負できる点です。自分の身近にいる人たちが起業を目指したり、実際に起業したりするのを見てると自分でもできる、自分もやりたいという気になりました。

【起業のネタ探し】

日本に帰国してすぐに起業するためのネタ探しを始めました。まず考えたのは、「自分がやりたいこと」をやることです。好きなことなら一生懸命できることを立高での経験で私は知っていました。



次に、とは言うものの「自分ができること」をやるのが大切だと思いました。いくら野球が好きで一生懸命練習したところで、誰もがプロ野球選手になれるわけではありませんから。

最後に「社会が求めていること」をやろうと思いました。自分が好きで、出来ることをやっても自分の趣味にしかならないことも多いです。もし社会がそれを必要としていたら、それはビジネスになるからです。

ただし、自分が何をやりたいのかぼんやりとしかわかりません。自分は何ができるのか、正直よくわかりません。もちろん社会が何を求めているのかなんて簡単にはわかりません。私は「自分が好きかもしれないこと」「自分が出来るかもしれないこと」「社会から

められそうなこと」とあえて幅広く考えるようにしました。この図は起業とかに関係なく、みなさんが将来仕事を探すときにも役立つと思います。

【起業から上場まで】

2001年7月に人材開発のプラットフォームを提供する(株)ライトワークスを起業しました。私たちが提供するCAREERSHIPは、いまではトヨタ自動車をはじめ日本のトップ企業に採用され利用者が250万人を超えるプラットフォームに成長しました。今年2月には東京証券取引所マザーズ(現グロース)に上場しました。

アイデアといまの努力で道は開けるといふ起業家精神でこれからもチャレンジしていきたいと思っています。



上場セレモニーで打鐘する筆者